

キャンパス ニライ

第90号

2019年 4月発行

放送大学

沖縄学習センター

TEL: 098(895)5952 FAX: 098(895)5953

〒903-0129 西原町字千原1番地

(琉球大学構内: 地域国際学習センター棟4・5階)



放送大学沖縄学習センター平成30年度第2学期学位記授与式

Contents

巻頭言「多様性時代の最先端『放送大学』 — 二番座の電球が見てきたこと —」	
沖縄学習センター客員教授 仲座 栄三	1
平成30年度第2学期 学位記授与式 所長からのメッセージ	2
卒業生からのメッセージ	3
学習センター客員教員 退任・着任のご挨拶	4
面接授業 追加登録のご案内	5
ゼミ開講・学習相談のお知らせ	7
事務室からのお知らせ	9
「シンポジウム」のご報告 所長特別公開講座のご案内	10
全国の面接授業を受講してみませんか? 愛知学習センターの学生より	11
沖縄学習センター サークルのご紹介	12
図書・視聴覚室よりお知らせ	13



多様性時代の最先端『放送大学』

— 二番座の電球が見てきたこと —

沖縄学習センター客員教授
仲座 栄三

私が生まれ育った田舎を訪ねてみると、あれほどに活気に溢れこだましていた人々の声はなく、子ども達で華やいでいた小学校や中学校なども雑草生い茂る状態となり、廃校同然となっている。いつも笑顔で話しかけてくれた隣のおばさんやおじさん達はすでに去り、そこには痕跡すらもない。人々が海の幸を手には大声で自慢し合いながら、断崖に刻まれたけもの道を上り下りしているあの笑顔に満ちた光景はもうどこにもない。一方で、断崖絶壁の荒々しさや、そこに吹き込む海風の様相は時代を経てもそのままにある。実に不思議なタイムトラベルの感覚に包みこまれてしまう。

当時、目指すのは高校進学であり、そしてその先は都会での大学と、勉強の先には希望があり、まさに絵に描いたような未来があると信じられた。親達は、「勉強しなければ自分達のように苦しい農業をする者になる」というのが口癖であった。当時、農業は苦しさの代名詞であり、学ぶことのできなかった親達の現状に対する代名詞でもあった。こうして子ども達は、勉学に励み、そして挙って村を去った。残された薄暗い二番座には涙する親達がいた。目前のことを追いきり求めている間に、故郷は消えようとしている。いやすでに消え去った村さえもある。当時、村がこうなることを誰が想像したのであろうか。

いま人口の減少と高齢化社会の問題が近未来のこととして危惧されている。そして労働人口の不足問題が深刻となっている。この問題の先に、何が我々の目前に現れるのかは人口減少の著しい地域の現状に縮図として現れているように思える。村に人々が残り、そしてそこに活気ある社会が成立するためには、これまで我々が辿った道とは異なる選択を必要とするのではなかろうか。インターネットが発達した今日において、学ぶ環境はひと昔とは大きく異なった。そして農業は時代の先端を行き、いまや先進バイオやIoT技術の導入により、あの代名詞は「最先端」へと変わりつつある。村を創生させる原動力がここにあるように思える。

今日、インターネットやBSデジタル通信の導入により、「いつでもどこでも、だれでも」学べる環境が放送大学から提供されている。世界においても、Open University（放送大学）という形で、そして授業等はMOOCs（massive open online courses）の形で広がりを見せており、その発展は目を見張るものがある。世界に冠たるMIT（マサチューセッツ工科大学）では、500を超える講座を公開しており、修士号まで取れる仕組みを構築している。もはや都会へ、そして世界の中心へと挙って出る必要性はなくなった。

2015年の巻頭言で私は、ある通信制の高校の可能性について書いた。「多様性に富む通信制の高校の卒業式が、てらいのない笑顔で満ちて華やいでいた」と、そして「方法の一つではない」と締めくくった。いま、通信制の高校の可能性は高まっている。これも時代の最先端が要請する変化かもしれない。その先に放送大学の役割があるように思える。地域からそして多様性社会から求められる大学が、放送大学ということになる。我々は、多様性時代の最先端にいるのである。この学びが、時代のもたらす難問題を解決するに違いない。



平成 30 年度第 2 学期 学位記授与式

平成 31 年 3 月 30 日（土）、沖縄学習センターにて「平成 30 年度第 2 学期 学位記授与式」が行われました。今学期は、学部 46 名、大学院 2 名の方が無事に卒業・修了を迎えられました。

平成 30 年度第 2 学期卒業生

学部（46 名）

【人間と文化コース】

伊波 康和
金武 由姫
桑江 トミ子
長濃 明生 他 3 名

【情報コース】

小出 由美 他 1 名

【社会と産業コース】

新城 恵美子
田中 宏之
渡嘉敷 直季
平井 岳博
外間 友一 他 1 名

【心理と教育コース】

安里 春絵
糸数 光男
上原 ゆかり
内川 桜
大城 優真
小椋 雄子
喜瀬 翼
古波津 香
呉屋 初枝
長浜 貴子
仲村渠 さおり
野南 英芳
平野 須賀子
外間 恵子
宮城 陽子 他 8 名

【生活と福祉コース】

新垣 キミ
伊佐 幸
上門 菊代
久田 夏子
新城 政喜
平 睦子
知名 恵美子



【産業と技術専攻】

1 名

大学院（2 名）

【臨床心理学プログラム】

鮫島 貴子

【情報学プログラム】

1 名

所長からのメッセージ

「学び続けた自分は、今までの自分とは違った自分をつくる」

—放送大学卒業生ならびに新入生への^{はなむけ}餞のことば—

放送大学沖縄学習センター・所長

富永 大介

ご卒業の皆様、晴れて学位の取得おめでとうございます。また、今年度新たに入学される皆様、ご入学おめでとうございます。入学にあたりいろいろと思いがおありだったとご察し致します。

去る 3 月 23 日土曜日、NHK ホールで全国 50 学習センターの放送大生による学位授与式が挙行されました。今年は大学院修了者を含めて、全国で約 6,400 名の学生たちが巣立ちました。式当日は沖縄からも数名の方の参加があり、式後のハイアットホテルでの祝賀会では、卒業生と談話する機会がありました。やはり、証書をいただくという、目で見える機会があると、卒業生にとっては今まで努力の跡が懐かしくもあり、また自分を褒めてやりたい心境にもなるようです。

一方、新入生の皆様方にとりましても、各人入学の動機は違っていても、自分の目標を貫徹し、数年後の学位授与式での感動を体験してほしいと思います。

卒業生と入学生の方々に、一つだけ私から餞の言葉を述べたいと思います。放送大学は正規の大学ですので、毎年、学期ごとに単位認定試験を実施し、それに合格すると単位が与えられます。全部で 124 単位を取得すると大学卒の資格が得られます。編入学の方は 62 単位で資格が取得できます。放送大学は全国に約 9 万人の学生を抱えていることから、試験は選択肢によるコンピュータ採点に頼らざるを得ません。すなわち、受験生がどれだけ受験科目の知識を獲得したかを客観的に捉えるマークシート方式で実施されます。社会経験を積んできた学生を対象とする放送大学にとっては、若い大学生と違って知識を獲得することだけが本来の教育の目的ではありません。社会経験を踏まえて、さらに学習意欲を抱く放送大学生にとっては、各科目で学んだ知識ばかりでなく、試験では評価し難いより深い内容の獲得にあると思っています。これはマークシート式の試験問題では決して測れないものです。

仮に二人の自分がいて、一人は、放送大学で学んで無事卒業することができた自分。もう一人はこれまでの生活を続けてきた自分。数年後の二人は全く異なる自分をつくり出すことでしょう。

すなわち学び続けた自分は、今までの自分とは違った自分をつくり、その結果、学びがその後の人生を大きく変える可能性を暗示します。未来を切り開く自信と、ポジティブに前向きに歩む自分を再発見するのです。

この度ご卒業される皆様は、きっとそのような自分を見つけたことでしょう。新たに入学される皆様は、学ぶことを日課の一部に組み込み、数年間学習に励んで下さい。きっと今までの自分とは違った自分に出くわすことでしょう。

卒業生からのメッセージ

「さらなる学びのスタート」

教養学部社会と産業コース

平井 岳博

大阪から沖縄へ移住した年の2013年に、心理学を学びたいと考え入学した放送大学では多くのご縁に恵まれました。特に心理劇のゼミでは今の妻と出会い、そのうえ所属していたパソコンサークルの皆様に結婚パーティを開催していただくという一生忘れることのない素晴らしい経験までさせていただきました。また、2017年にはそのようなご縁で知り合った方々のおかげで、驚くほどスムーズに「心理学会」(現「心理学サークル」)を立ち上げることができました。

学業面では、できるだけ偏ることのないよう幅広く心理学の知識を勉強してきましたが、その中でも行動分析学とマインドフルネスには特に興味を惹かれ、教科書や面接授業だけでなく多くの専門書を読んだり、マインドフルネス瞑想会に参加したり、日常生活の中でも実践したりして、知識だけでなく体験的にも理解して身に付けるように取り組んできました。その結果、人生の中で非常に役立ってくれています。

また、今回は入学時に選んだ心理と教育コースではないコースに変更して卒業することにしました。それは、心理学で卒業するなら論文を書いてみたいという気持ちがあるからです。放送大学で一つやり残したことがあるとすれば卒業研究を履修しなかったことなのですが、いつかテーマが見つければ、再び学生として放送大学に帰ってきたいと考えております。

お世話になった先生方、職員の皆様、そして学友の皆様、本当にありがとうございました。末筆ながら皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



教養学部心理と教育コース

小椋 雄子

春暖の候、晴れて「心理と教育コース」を卒業する事が出来ました。3月24日東京NHKホールでの学位記授与式に参加し、5988名の仲間と共に学位記を授与、他県の方々との交流は楽しく感無量でした。

私が放送大学に入学したきっかけは、医療職の仕事をしていた事で知識を広めたいとの思いからでした。

選科履修生として興味ある好きな科目だけを1年に1~2科目無理せず継続して学びました。気が付けばいつのまにか100単位取得していました。ある時友人より「卒業出来る様に頑張った方がいいのでは」と肩を押され平成29年より全科履修生へ編入し卒業を目標としました。そうした事で学習意欲も変わりました。1年後に124単位取得できた時は、「バンザイ、ヤッター」と自分に拍手し喜びました。思い起こせばいろいろな事がありました。夜勤明けで眠気と戦いながら受けた面接授業、かけ込んで受けた単位認定試験など卒業までの道乗りは長い年月でありました。何のため何を学ぶのか目的目標を明確に持つ事で頑張れた、と思います。

「生きることはまなぶこと。まなぶのはたのしみ」「生きるとは知ること、知ることによるこび 知は光 知は力」最後に沖縄学習センター長の富永大介先生、平良事務長及び各担当の方々、家族、友人へ心より感謝致します。



学習センター客員教員 退任・着任



退任

「退任にあたって」島袋 恒男 先生 琉球大学名誉教授 専門：教育・発達心理学・キャリア教育



沖縄では一足早く暖かい早春の季節と新たな新学年度を迎え、皆様も新鮮で気力ある4月を迎えている事とお喜び申し上げます。3月で退任にあたり、ひとことご挨拶させていただきます。

2014年度より5年間放送大学沖縄学習センターの客員教員を務めさせていただきました。多くの社会人学生と出会い、語らい、私個人も今までの研究生活・教員生活では体験できないことを教えてもらいました。楽しく充実した5年間だったと思います。学生の皆様、いろいろ支援して下さった事務の皆様ありがとうございました。

この5年間で主に「青年期の発達」「沖縄県の児童生徒の学びと進路発達」そして「卒業研究」を担当させていただきました。また事務局企画のいくつかの「シンポジウム」「講演」などの機会もいただきました。放送大学での学生の印象は学生の皆様の「学びへの意欲の高さ」でありました。社会生活・体験を通して知りたい・わかりたいという気持ちがとても高いことを感じることができました。自分の仕事・生活・人生をもっと充実させ向上させたいという気持ちが高い印象を感じ取ることができました。まさしく「生涯学習」を実践していると思います。また学ぶ意欲の高い学生は、概して社会性を身に着けかつ礼儀正しい印象を受けました。自ら学びに向かい、時には人と関わりながら学んでいく姿が放送大学にはありました。学びという字の旧漢字は「學」と書きます。教室の中で学生同士が交わり、同時に学生と先生が交わりあいその活動を教師の両手がしっかりと包み込んでいる姿が学びの成立に大切なことを示しています。学生に限らず私たち社会人・職業人もほぼ同様の学びの姿を構築していると思います。生涯学びは人との関わりの中で進んでいきます。私もこれからそのような学びを求めて行きたいと思います。今後も放送大学沖縄学習センターの学生の皆様が、お互いに学びあい、成長向上していけることと、沖縄学習センターの更なる発展を祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

着任

「着任のご挨拶」高木 博 先生 琉球大学医学部特命准教授 専門：脳科学



早稲田大学教育学部卒業、早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了、同博士課程修了。早稲田大学理工学部助手、東京薬科大学生命科学研究科助手、信州大学医学部助教授、バージニア大学生物学部博士研究員、三菱化学生命科学研究科副主任研究員、早稲田大学理工学研究科客員研究員、沖縄科学技術大学院大学(OIST)グループリーダーを経て、琉球大学医学部特命准教授、現在に至る。OIST、琉球大学医学部で教鞭をとる他、OIST主催の「子ども科学教室」や沖縄県主催の「サイエンスリーダー育成」など社会における活動にも積極的に関わっている。日本神経科学学会、日本生物物理学会、北米神経科学学会所属。

この度、客員准教授を拝命することになりました、高木博です。普段は医学部の方でラットを用いた研究や医学教育に従事しております。専門は脳科学・生物物理学ですが、富永所長より、放送大学では心の問題についても研究をするようにという既に宿題をいただいております。放送大学の受講生の皆さんと一緒に勉強させていただければと思っております。また、仲座客員教授からは、本業である物理や数学の教育についてもしっかりやるように言われております。そちらについても皆さんのお役に立てるようにと考えております。

私はもともと本土の人間ですが、10年ほど沖縄科学技術大学院大学の教員として沖縄にやってきました。その風土に魅了されまして、長居をさせていただいております。むしろ自分のキャラクターは本土よりも沖縄向きなのではないかと勝手に思いこんでおります。面接授業や学習相談で皆様とのふれあい（懇談）の中で沖縄の魅力を更に楽しませていただければと思っております。沖縄の私は田舎者ですので、皆様からお教えいただくことも多いかと思います。若造ですので、至らない点がありましたら、遠慮なくお叱りいただければとも思っております。もちろん、専門分野である、脳科学、物理や数学についての皆様からのご意見や質問も大歓迎しております。

2019 年度第 1 学期面接授業 追加登録のご案内

面接授業は、学習センター等で他の学生と一緒に直接講師から指導を受ける授業です。放送授業では経験できない実験等の講義や、地域に密着した講義もあり、他の学生と学ぶ楽しさを共有することができます。

2019 年度第 1 学期の面接授業の空席状況が 4 月 13 日（土）12 時に放送大学ホームページのシステム WAKABA で発表されます。沖縄学習センター掲示板、沖縄学習センターホームページでも発表します。空席数が少ない科目は抽選になる可能性が高いですので、受講を希望する方は追加登録受付初日の 4 月 19 日（金）に沖縄学習センター窓口へお越しください（午前 9 時 45 分集合）。郵送による申請も可能ですが、抽選の場合は窓口分と併せて行いますので、4 月 17 日（水）までの到着分が対象となります。当該学生の学生証をご持参の方であれば、代理人による登録も可能です。



2019 年度第 1 学期の追加登録対象の面接授業（平成 31 年 3 月 29 日現在）

授業日	科目名	担当講師	定員	科目区分	登録受付期限 （定員に達するまで 申請可能な期限）
4月27日（土） 4月28日（日）	天空のコスモロジー 授業は石垣市大演信泉記念館で行う	山里 純一	40	専門：人間と文化	4月20日（土）
4月27日（土） 4月28日（日）	アドラー心理学の理論と実践	向後 千春	50	専門：心理と教育	4月20日（土）
5月11日（土） 5月12日（日）	憲法と沖縄	高良 鉄美	50	導入科目：社会と産業	5月8日（水）
5月11日（土） 5月12日（日）	英語音読とシャドーイング	村田 典枝	30	基盤科目：外国語	5月8日（水）
5月18日（土） 5月19日（日）	琉球の人とサンゴ礁	渡久地 健	50	専門：人間と文化	5月11日（土）
5月18日（土） 5月19日（日）	心理検査法基礎実習	田中 寛二	30	専門：心理と教育	5月11日（土）
5月25日（土） 5月26日（日）	数値的予測とプログラミング 基礎	仲座 栄三	40	導入科目：情報	5月18日（土）
5月25日（土） 5月26日（日）	ジャパン・トーク	ヘアリー・ キース	20	基盤科目：外国語	5月18日（土）
6月1日（土） 6月2日（日）	琉球語概説－しまくとぅばを 織る	下地賀代子	30	基盤科目	5月25日（土）
6月8日（土） 6月9日（日）	因果関係の解析	岡崎 威生	20	導入科目：情報	6月1日（土）
6月8日（土） 6月9日（日）	現代社会のしくみ	野入 直美	50	専門：社会と産業	6月1日（土）
6月8日（土） 6月9日（日）	老年学への招待	下地 敏洋	25	専門：生活と福祉	6月1日（土）
6月15日（土） 6月16日（日）	教育とビジネスへの新聞活用	藏根美智子	30	基盤科目	6月8日（土）
6月15日（土） 6月16日（日）	心理学実験 2	島袋 恒男	20	専門：心理と教育	6月8日（土）
6月22日（土） 6月23日（日）	西洋異界文学－音楽と共に	筑和 正格	30	専門：人間と文化	6月15日（土）



授業料・単位数について

面接授業は、1 科目当たり 1 単位となります。授業料は 1 科目当たり、5,500 円です。

全科履修生は、卒業要件として面接授業（又はオンライン授業を含む）の単位を 20 単位以上修得する必要があります。選科・科目履修生は必修ではありませんが、興味のある内容の面接授業を受講することができます。



講義時間について

面接授業は、1回90分の授業を1日4回、連続する土日の2日間（※ただし科目によっては第8回目の講義を45分、その後に試験等を実施するなど終了時間が異なる）で行い、1つの科目が終了します。

	1 時限 (10:00~11:30)	2 時限 (11:40~13:10)	3 時限 (14:00~15:30)	4 時限 (15:40~17:10)
土曜日	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
日曜日	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回 ※



面接授業の追加登録方法

空
席
発
表

事
前
申
請
(郵送のみ)

追
加
科
目
登
録
受
付
期
間
(窓口・郵送)

4月13日(土) 12時 ご希望の科目に空席があるかご確認ください。

沖縄学習センター掲示板に貼り出します。

放送大学ホームページのシステム WAKABA から確認できます。



4月17日(水) 必着 (現金書留でお送りください)

郵送申請
受付



※窓口受付不可

郵送申請に必要なもの

- ☒ 追加登録申請書 (面接授業時間割表冊子の巻末
または放送大学沖縄学習センターホームページよりダウンロード)
- ☒ 授業料 (5,500 円) ☒ 学生証のコピー ☒ 82 円切手を貼った返信用封筒

宛先：放送大学沖縄学習センター

【抽選】 4月19日(金) 希望者が定員を超えた科目

- ① 事前申請(郵送)受付分(17日までの到着分) + ②4/19(金) 当日受付分(19日9:45から10:00までの受付分)を対象に、10時に抽選を行い、受講者を決定します。

(場所：沖縄学習センター4階 事務室窓口)

※当該学生の学生証をご持参の方であれば、代理人による登録も可能です。

→当選された方は、そのまま授業料納付の手続きを窓口にて行ってください。

郵送申請された方には、抽選の結果をセンター職員よりご連絡いたします。

来所申請に必要なもの ⇒ 追加登録申請書、授業料(5,500 円/1 科目あたり)、学生証

【先着順】 申込が定員に達していない科目の申請受付

抽選日以降、空席がある科目については引続き、科目ごとの申込受付期限日(前ページの登録受付期限を参照)まで窓口・郵送にて受付登録を行います。



単位認定について

面接授業への出席状況(全講義出席を前提)を満たしたうえで学習状況(試験・レポートの成績等)が良好な場合に単位が与えられます。評価は、6段階(Ⓐ、A、B、C、D、E)の標語で表し、Ⓐ、A、B及びCが合格となり、1単位が認定されます。

ゼミ開講のお知らせ

2019 年度第 1 学期も、沖縄学習センター客員教員の先生方による無料のゼミを開講いたします。
それぞれのフィールドで活躍され、大学で教鞭をとってこられた各先生方の専門分野に一步近づく絶好のチャンスです。ご参加お待ちしております。

受講料 無料

場所 沖縄学習センター5階

定員 各ゼミ 5～20 名

■申込受付期間：4 月 16 日（火）～各ゼミ開講の 1 週間前まで

※学習センター窓口またはお電話（895-5952）にて受付いたします。



曜日 11:30～14:30 場所:5階 講義室

6月4日、11日、18日、25日

但し 12:30 から 13:30 は昼食休憩



大城 進
先生

サイエンスカフェ：現代英語で学ぶ科学リテラシー

全 4 回
定員 20 名

1992 年、ユネスコが読み書き・計算とともに、科学リテラシーを人権の保障、社会参加に必要な 21 世紀の基本的素養として位置づけました。科学リテラシーとはどのようなものなのか、なぜ、重視されるのか。本ゼミでは「英語で読む科学」の英文抜粋や英語ニュースを読み聴きしつつ考えて頂ければと思います。皆さんの社会参画と豊かな人生に少しでも役立てば幸いです。お気軽にご参加下さい。和気藹々と語り合う場にしたいと思います。



曜日 15:30～17:00 場所:5階 講義室

6月4日、11日、25日、7月2日、9日



平田 幹夫
先生

人生に役立つ心理学

全 5 回
定員 10 名

多くの人は、なぜ心理学に興味を示すのだろうか。自分自身や家族、友人が抱えている課題を心理学を学ぶことによって解決できるのではないかと考えている人が多い。心理学を学ぶことは自分自身を振り返り、新たな豊かな人生に向かって一步踏み出すきっかけをつくることである。このゼミでは、学生一人ひとりが「このゼミを通じて自分自身の何かが変わり始めた」と実感できる講義を行っていきたい。



曜日 14:00～16:00 場所:5階 講義室

6月19日、26日、7月3日、10日



等々力 英美
先生

ソーシャル・キャピタルと社会 ー地域・家庭・個人の視点からー

全 4 回
定員 5 名

社会に関わるヒトとのつながりについて皆さんと考えてみます。ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）を軸に、地域・家庭・個人の視点から健康格差や社会格差についていくつかの著作を提示して、皆さんと議論を交えながら考えてみたいと思います。特に、歴史や芸術的アプローチも加味した内容を考えています。著作については、後で、いくつか提示しますが皆さんの興味のある本についても対象にしたいと思います。

**曜日 11:00～13:00 場所:5階 講義室**5月17日 31日 6月14日 28日**東矢 光代
先生****英語の歌で発音力アップ! PART2****全4回
定員15名**

前学期に続き「耳から学ぶ英語」で紹介されている英語の歌や、受講者が希望する歌について、歌詞を確認しながら、一緒に楽しく歌ってみるゼミです。歌詞の発音を練習する中で、より「英語らしく」聞こえる発音のコツを学びます。今学期は、前回のおさらいをしながら、また新しい歌に挑戦しましょう!

**曜日 14:00～16:00 場所:4階 会議室**6月28日 7月5日 12日**藏根 美智子
先生****「女性も男性も輝く社会とは」****全3回
定員10名**

女性の活躍を進め、女性も男性も輝く社会創りが、今、求められています。今年度卒業論学生が「女性のキャリアデザインの展開及びワークライフバランスについて」をテーマに研究を進めており、講師（藏根）が視察に行ったニュージーランドや台湾、フィンランドの先進国と比較しながら、女性も男性も輝く社会創りについて共に考え、行動したい。富永大介所長へも交流会に参加を頂く予定になっております。男性の参加も期待します。

**曜日 15:00～17:00 場所:5階 実習室**8月11日 18日 25日 9月1日 8日**米盛 徳市
先生****Excel 表計算ソフト入門 5****全5回
定員20名**

「わかりやすく、ていねいに、ゆっくりと」をゼミのモットーに、初歩から始めた人にも易しく教えてます。以前参加された方も、ぜひ一緒にまた学習しましょう。お待ちしております。

**2019 年度沖縄学習センター所属 客員教員（学習相談）**

曜日	相談対応日時	担当教員	専門分野
火	11:00～15:00	大城 進（沖縄県立芸術大学非常勤講師）	教育指導・教育管理・物理教育・理科教育
火	15:00～18:00	平田 幹夫（琉球大学教育学部教授）	学校臨床心理学
水	13:00～17:00	等々力 英美（琉球大学地域連携推進機構客員准教授）	公衆衛生学・栄養疫学
木	10:00～13:00	仲座 栄三（琉球大学工学部教授）	環境防災工学・海岸工学
金	11:00～14:00	東矢 光代（琉球大学国際地域創造学部教授）	応用言語学・英語教育学
土	10:00～14:00	高木 博（琉球大学医学部特命准教授）	脳科学・心の科学
土	13:00～17:00	大湾 知子（琉球大学医学部准教授）	成人看護学・感染看護学・尿失禁看護学
日	10:00～14:00	藏根 美智子（元県教育庁生涯学習振興課長）	国語教育・教育行政
日	14:00～18:00	米盛 徳市（琉球大学名誉教授）	教育工学・経営工学・情報工学



事務室からのお知らせ

❖ 学習センターの利用について

学習センターは、面接授業（スクーリング）や学習相談、単位認定試験、放送授業の視聴、図書の閲覧などが行われる学習の拠点です。また、学生さんが教職員や学友とふれあうことのできる大切な場でもあります。自由に勉強ができるスペースもありますので、積極的に活用してください。

【事務室】



- ・学習相談
- ・証明書発行 等

【視聴学習室・図書室】



- ・放送授業の視聴
- ・図書の閲覧

【学生控室・テラス】



- ・休息、談話、飲食 等

センター利用時間

【通常期間】

火～日 9:30～18:00

今年度より変更になりました。

【単位認定試験期間】

期間中 8:30～19:00

図書室等の利用は、18:30 まで

閉所日

月曜日・祝日・年末年始



視聴学習室の利用について

視聴学習室に放送授業視聴専用のパソコンを9台導入しています。このパソコンは、使用可能な機能が放送授業の視聴のみに制限され、インターネット検索やメールの閲覧、Word や Excel などソフトの利用はできないようになっています。これまでの、CD・DVDによる室内視聴用の機材も今年度中は設置しておりますので、インターネット視聴、CD・DVD視聴、どちらも利用可能です。（2019年度新規開講講座はインターネット視聴のみとなります）



❖ 学生証・車両入構証

学習センター窓口でのお手続きをお願いします！



【学生証】

新入生の方…入学許可書をお持ちになり、学生証をお受取りください。

在学生の方…有効期限が切れた学生証と引き換えに、お受取りください。



【車両入構証】

大学構内で駐車場を利用するための入構証です。申請書は事務室に用意しております。手続きの際、車両ナンバー・運転免許証番号の記入が必要です。期限が切れた場合は更新をお願いします。

❖ 通信指導の提出

放送授業の科目では、全15回のうち8回目までの内容について、学期の途中に担当教員の添削指導を受けることになっています。郵送またはインターネットで、必ず以下の期間内に本部宛に提出してください。



WEB : 2019年5月14日(火)10:00 ～ 6月4日(火)17:00

郵送 : 2019年5月21日(火)～ 6月4日(火)必着



重要! 通信指導に合格しないと、学期末の単位認定試験を受験することができません。

沖縄県立図書館との連携と沖縄学習センター主催 学びのシンポジウムのご報告



沖縄県立図書館と放送大学沖縄学習センターが連携し、県立図書館 4 階のビジネスエリアに放送大学コーナーを設置しました。また、2 月 7 日には放送大学コーナー設置締結式を行いました。それを記念して 2 月 16 日（土）、「生涯学習拠点の『要』としての新県立図書館—放送大学と新県立図書館の連携を記念して—」というタイトルのもと沖縄県立図書館ホールでシンポジウムを開催しました。当日は、放送大学生と一般の方合わせて 150 名の参加がありました。来生学長は設立の時点から放送大学は生涯学習の機関でもあった事、今後の放送大学の役割や課題について講演し、パネリストにはそれぞれの仕事や活動についての紹介をして頂きました。後半は会場から出た質問をもとに、放送大学と図書館の今後の役割について意見を交わす時間を設けました。ホール前では、子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞を受賞した那覇西高等学校の取り組みに関する特別展示を行いました。

◎基調講演 『生涯学習拠点の「要」としての新県立図書館』
—放送大学と新県立図書館の連携を記念して—

来生 新氏（放送大学長）

◎パネルディスカッション 『多様な連携力による生涯学習拠点』

垣花 昭彦氏（沖縄県立図書館副参事）

松岡 和枝氏（メリーランド大学 講師）

長濱 雅仁氏（沖縄県立那覇西高等学校長）



2 月 7 日に放送大学コーナー設置締結式を行いました。



来生学長による基調講演



パネルディスカッションの様子



那覇西高校図書委員による特別展示

富永所長の特別公開講座のご案内(in 沖縄県立図書館)

テーマ：「生涯発達からみた脳の成長と心の発達」（4 回シリーズ・毎回完結）

公開講座：13 時 30 分～15 時 30 分 学習相談会：15 時 40 分～16 時 10 分

会場：沖縄県立図書館 申込不要・無料。放送大学の学生以外の方もご参加頂けます。

- 【第 1 回】 5 月 19 日（日）開催「①生涯発達の捉え方/胎児期・乳幼児期の脳と心の発達」
- 【第 2 回】 6 月 16 日（日）開催「②幼児期・児童期・思春期・青年期の脳と心の発達」
- 【第 3 回】 7 月 14 日（日）開催「③青年期・中年期（前期・後期）の脳と心の発達」
- 【第 4 回】 8 月 18 日（日）開催「④高齢期（前期・後期）の脳と心の発達」



昨年の講義の様子

（講座内容）人間は人生という時間軸に自己の出来事を紡ぎながら生きていく。同じ経験をしても若いときと年をとったときとでは受け止め方が全く異なる。人間は脳と心を変化させながら生きていくものである。この 4 回シリーズの特別講座では、各発達段階の精神の発達の特徴とそのときの脳の変容過程について見ていく。脳の発達が心の発達を規定することもあるれば、その逆もあり、脳と心は相補的な関係で変化するものである。受講者の皆さんにとっては、過去の自分を顧みると同時に、今の自分、将来の自分の生き方を模索する際の貴重なヒントを得る機会となるに違いない。

全国の面接授業を受講してみませんか？



三重学習センター面接授業「民族文化から見た三重の今昔」のご報告

去る1月5日(土)6日(日)、三重学習センター面接授業「民族文化から見た三重の今昔」を受講してきました。講師は宗教社会学、神社祭祀研究、近代神道史が専門の櫻井 治男先生(皇學館大学大学院文学研究科特別教授)で、受講者は37名でした。三重県といえば伊勢神宮が有名ですが、伊勢神宮(外宮・内宮)を含め125宮社あります。時代の変化に伴い祭り事が減ってはいるものの、今でも大切に引き継がれており、講義では、写真や地図を資料に用いて伊勢に関する文化や祭りごとを、分かりやすくご教授頂きました。

三重学習センターは、JR・近鉄津駅よりバスで5分、徒歩20分ほどの場所にある三重県総合文化センターの生涯学習センター棟(1階には県立図書館)の4階にあります。

今回面接授業を受講した37名のうち県外からの受講者は6名(愛知2名、和歌山・静岡・岐阜・千葉各1名)で、特に愛知からの受講者は三重学習センターだけでなく興味のある面接授業があれば、他県学習センターで受講しているとの事でした。キャンパスニライへの投稿をお願いしましたので、下記をご覧ください。

沖縄は、他都道府県に隣接していない為、移動に旅費や日数がかかりますが、放送大学ではその地域独自の面接授業を数多く開講していますので、是非、システムWAKABAから日本全国の学習センターの面接授業を検索し、興味がある授業があれば受講してみてください。【システムWAKABA⇒面接授業(第1学期のページ)⇒授業内容一覧へ】



学びは継続すること

社会と産業・学部全科生

人文学・修士全科生 片山勇夫

愛知SCの片山です。

私は三重県に住んでいるが、愛知SCは入学当初からの所属です。

その理由は、名古屋生まれで30歳迄住んでいました。だから、愛知SC附近の地理はよく分かり、知っている所がよいという単純な理由でした。愛知SCは、過去に「BSキャンパスex」、学習センターめぐりで余すところなく紹介されています。愛知SCの在学学生は、東海三県下が一番多いのが当然ですが、少数ながら広範囲の府県まで広がっています。その理由は、名古屋駅から地下鉄約30分で到着する利便性が大きいです。

さて、私の学びは、平成29年に「人間と文化」を卒業し、「社会と産業」に再入学しています。平成30年からは、大学院全科「人文学プログラム」にも入学しました。大学院に入学する前は、客員教授による自主ゼミやサークル活動も活発に行い、学友会の役員も引き受けていたが、修論を取り組み始めてから忙しくなり、現在、自主ゼミやサークル活動は休止中です。

学部の方は修論テーマに近い面接授業のみ受けています。今学期、神奈川SCや千葉SCは一泊二日で参加しました。神奈川SCの面接授業では、先生に質問したら、明くる日、先生が書かれた論文のコピーを頂き「修論頑張ってください」と励まされてとても感激しました。

千葉SCは、千葉在住の友達と新年会を行い、手土産代わりに「愛知学習センター」のDVDを手渡し、放送大学入学を勧めたりしております。最後に、学びは「継続すること」だと思います。諦めることなくコツコツと学び続ければ結果は必ず付いてきます。どうか皆さんも一緒に学び続けましょう。



◆研修旅行の様子

沖縄学習センター サークルのご紹介

※時間の変更等する場合がありますので、見学の際は事前に事務室へお問い合わせ下さい。



英会話サークル

活動日 毎週火曜日
14:00~16:00
場所 学習センター5階
サークル室



三線サークル

活動日 毎週水曜日
16:30~18:30
場所 学習センター5階
サークル室



煎茶サークル「和」

活動日 第4水曜日
15:00~16:30
場所 学習センター5階
非常勤講師室



体操サークル

活動日 毎週金曜日
10:30~12:00
場所 学習センター5階
サークル室



うちなあパソコンサークル

活動日 毎週金曜日
12:30~15:30
場所 学習センター5階
実習室



中国語勉強会 你好倶楽部

活動日 第1~第4土曜日
10:00~12:00
場所 学習センター5階
サークル室



English Brush up club

活動日 第1・第3土曜日
14:00~16:00
場所 学習センター5階
サークル室



琉球舞踊サークル

活動日 毎週金曜日
16:30~18:30
場所 学習センター5階
サークル室



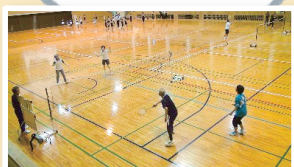
心理学研究会

活動日 第2・第4土曜日
15:00~17:00
場所 学習センター5階
サークル室



バドミントン同好会

活動日 火曜日 (月2回)
19:00~21:00
場所 西京町民体育館



旅の会

活動日 第1日曜日
13:00~14:00
場所 学習センター5階
サークル室



大城進英語スタディー ゼミ

活動日 毎週火曜日
11:00~14:00
場所 学習センター5階
客員教員室



視聴学習室・図書室からのお知らせ

New Arrival

面接授業参考図書入荷しました♪

4/20・21 日講座

高齢者の心理



老いのころ

著者：佐藤 眞一他
出版：有甲斐アルマ

日本は世界に先がけて超高齢社会となり「老い」は個人と社会の共通課題となりました。「老いる」とはいかなることか考え、高齢者について良く知ることが必要となったのです。老いに伴う課題を考えるために役立つ知見を、具体例とともにやさしく解説しています。

4/27・28 日講座

アドラー心理学の
理論と実践



人生の迷いが消える
アドラー心理学の
ススメ

著者：向後 千春
出版：技術評論社

おすすめ

イライラ解消、人付き合い、子育て、老い・・・など人生には迷いがつきもの…この本はあらゆる局面で役立つアドラーの視点を手に入れ、人生観を変えるきっかけとなる一冊です。

5/11・12 日講座

英語音読と
シャドーイング



シャドーイングと音読
英語トレーニング

著者：門田 修平監修
出版：(株)コスモピア

おすすめ

理論的・実践的考察をもとにシャドーイングや音読の学習法がいかにあるべきかを追究した結果生まれた、新しいタイプの学習本です。この本を読んで、英語習得法の基本を身につけ、「ほんものの英語力」を磨いてみよう！！

5/11・12 日講座

憲法と沖縄



沖縄から見た
平和憲法

著者：高良 鉄美
出版：未来社

おすすめ

憲法と沖縄との関係や米軍統治時代の沖縄における憲法問題などについて、歴史視点から紐解いてみよう！そこには驚きがたくさん！今だからこそみなさんに読んでほしい1冊です。

5/18・19 日講座

琉球の人とサンゴ礁



サンゴ礁の人文地理学

著者：渡久地 健
出版：古今書院

おすすめ

サンゴ礁の語る言葉を生活者（島人）とりわけ漁師（海人）の語りを通して、詳細に取り上げ分析して物語としても読み解けるだけでなく、総合的な人文地理学書としてまとめあげた研究書でもあります。沖縄タイムスでも取り上げられたとても教み深いおすすめ本です。

6/1・2 日講座

琉球語概説

しまくとぅばを織る



しまくとぅば
ルネサンス

編集：沖縄国際大学公開講座
出版：編集工房東洋企画

奄美大島から与那国島に至る島々の連なりを「琉球弧」といい、そこで用いられている様々なことばを総称して「琉球語（琉球方言）」といいます。最近では方言でしまくとぅばともよばれています。消滅危機言語の問題としまくとぅばの断絶の問題は決しておえんではありません。沖縄の将来の展望を考えさせられる一冊です。

バックナンバー雑誌本リサイクルのお知らせ

学習センターで配架していた雑誌のバックナンバーを、希望の方に無償でさしあげます。ご希望の方は図書室職員にお声掛けください。

□対象雑誌：1年以上前に発行されたもの

□日 時：2019年5月11日（土）～先着順でなくなり次第終了

※1人でたくさんの持ち帰りはご遠慮ください♪

